

● 奈良県言語聴覚士会

なら言語聴覚の日の集い2016

実行委員長 曾山 茂人



奈良県脳卒中者友の会「桜の会」失語症合唱団の皆さん

奈良県言語聴覚士会では、言語聴覚障害や摂食嚥下障害ならびに言語聴覚士について広く知っていただくことを目的に2010年より毎年「なら言語聴覚の日の集い」を開催しています。今年も9月25日(日)に奈良市の北部会館市民文化ホールをお借りして、「なら言語聴覚の日の集い2016」と題し、イベントを開催しました。

今回は日本言語聴覚士協会のご協力で豪華な2組のゲストをお迎えすることができ、予定の200名をはるかに超える多くの方々にご参加いただきました。県外からの来場者も多く、感動の涙と笑いで会場は大いに盛り上がりました。

1組目のゲストは「第17回日本言語聴覚学会 in 京都」の特別企画で、しなやかかつパワフルな歌声で会場を魅了した「奈良県脳卒中者友の会『桜の会』失語症合唱団」です。老若男女問わず、誰もが一度は聞いたことのある楽曲を選択していただいたことで、会場全体が一つになって歌う場面もあり、心温まる時間を共有することができました。歌の合間のトークショーでは、指揮を務める言語聴覚士の前田公子先生とのやりとりで笑いが起こり、合唱団の方々の生き生きとした表情に参加者全員が生きる喜びや活力などを与えていただいたように思います。

2組目のゲストはNHK Eテレ「バリバラ～障害者情報バラエティー」メインMC担当、JFN全国38局ネット「LOVE in Action」にて爽やかに、熱く、献血の大切さを伝えるためラジオDJとして出演されているレモンさんこと山本シュウさんです。「人を育てるコミュニケーション」と題してご講演いただきました。「We are シンセキ！」を合

言葉に「命の大切さ」「生きる意味」「幸せについて」など、笑いの中に熱く、そして心に響くメッセージをいただきました。客席では涙を流される方も多く、会場はあっという間にレモンさんの世界に引き込まれました。コミュニケーションにおいて重要なことは「心は心を引き寄せる」ということ。誰でも心の中には「愛」と「憎悪」があり、「愛」は「愛」を「憎悪」は「憎悪」を引き寄せるといものでした。大人も子どもも関係なく互いが互いを尊重できる社会、あるいは環境を実現していかなければならない。まさに言語聴覚士が率先してこのような社会、環境を緊密なコミュニケーションで作っていかねばならないと深く考えさせていただく機会となりました。「We are シンセキ！」を合言葉に言語聴覚士をより身近な存在に感じていただけるよう、今後の活動につなげていきたいと思ひます。



合言葉は「We are シンセキ!」



コミュニケーションが人を育て、尊敬し合える社会を作ります